

VIII. 沿革・歩み

| | | |
|-------|--------|--|
| 昭和22年 | 11月19日 | 農業協同組合法公布。 |
| 昭和23年 | 2月9日 | 農協設立総会、初代組合長に今井秀太郎氏就任。 農業手形制度創設5,245万円借入融資。 部落実行組合誕生。 |
| 昭和24年 | | 国保直営診療所開設。 洋裁学院開設。 部落懇談会開始、そ菜取扱開始。 |
| 昭和25年 | | 組合員1,324名、出資増口計画達成。 共済事業開始。 |
| 昭和26年 | | 組合長に佐竹 豊氏選任。 土地改良暗渠排水47ha実施。 利用分量割り戻し金93万余円、剰余金71万余円。 |
| 昭和27年 | 7月1日 | 信用評定委員会設置(委員26名)。 |
| 昭和28年 | | 農協青年部、農協婦人部設立総会。 役員総会外選挙。 区画整備事業開始(10区)。 |
| 昭和29年 | | 農業倉庫、全販連表彰。 参事制採用、2/1初代に木村清一就任。 |
| 昭和30年 | | 佐竹組合長が村長に当選。 出資証券更新(五百円から千円に変更)。 |
| 昭和31年 | | 冷害危機突破農民大会開催。 道負債整備資金650万円融資。 |
| 昭和32年 | | 全道初「フルト-ザ-区画整理」(栄進3区)。 鶏卵取扱開始。 |
| 昭和33年 | | 農協10周年記念式典。 共済推進、1億円達成。 食糧庁長官表彰授彰(倉庫整備と保管技術)。 |
| 昭和34年 | | 組合長に大河庄蔵氏選任。 部落総ぐるみ懇談会開催。 1月15日 豊作感謝祭開催。 |
| 昭和35年 | | 北海道知事感謝状(米穀集荷業務優秀)。 牛乳の路線集荷開始。 機構改革(3部1室7係2支所)。 |
| 昭和36年 | | 組合員勘定取引開始(1/1)。 「びっふ農家だより」創刊。 事務所店舗竣工(9/15)。 |
| 昭和37年 | | 佐竹 豊氏組合長に再任。 受電施設完工(11区、21区、24区) 比布給油所建設。 |
| 昭和38年 | | 全共連特別表彰(共済新契約優績)。 近代化貯金開始。 |
| 昭和39年 | | ラナル支所及び集乳所新築(9月)。 |
| 昭和40年 | | 比布町農業構造改善推進委員会発足。 ラナル給油所新築(出光興産特約)。 |
| 昭和41年 | | 東園装蹄出張所開設。 |
| 昭和42年 | | 機構改革(1部6課制、土地改良係は課制)。 一日皆貯金開始。 |
| 昭和43年 | | 農協20周年記念式典。 電気製品推進運動、全購連会長表彰。 |
| 昭和44年 | | もみ乾燥施設新築(42,569俵処理)。 コンバイン操業(77戸、112.6ha)。 |
| 昭和45年 | | 日産サニー車取扱開始。 弁当箱購入助成(児童生徒へ配布)。 米の生産調整開始。 佐竹組合長生産連会長就任。 内部審査室設置。 |
| 昭和46年 | | 生活店舗新築(名称、くみあいストアー)。 久保田朝義参事土地改良区転出、遠藤留市氏参事選任。 |
| 昭和47年 | | 良質米生産奨励(ライスグレイダーに助成)。 農業者年金収納事務取扱。 |
| 昭和48年 | | 生産調整以来最大1,299.7ha転作。 道負債整理資金貸付け |

| | | |
|-------|-----------------------------|-----------------------|
| | 明田辰義理事、比布町長に当選。 | |
| 昭和49年 | 為替業務開始。 | 家畜預託貸付制度創設。 |
| 昭和50年 | 宮武武夫氏組合長に就任。 | 大型コンバイン処分(2台)。 |
| | 東園装蹄出張所閉鎖。 | |
| 昭和51年 | 土づくり運動(モミ殻暗渠、全戸養畜運動)。 | 店舗利用高奨励開始。 |
| 昭和52年 | 第7地区共同籾乾燥施設建設。 | |
| | 第1次地域農業振興計画・農協中長期計画策定。 | |
| 昭和53年 | 農協の基礎を築いた佐竹 豊氏逝去(9月)。 | |
| | 農協30周年記念式典。 | 第12地区共同乾燥施設工事完成。 |
| 昭和54年 | 堆肥生産施設整備でそ菜の振興。 | |
| | 広域組織(中央部8農協)による審査制度に加入。 | |
| 昭和55年 | 農機センター新築し自主整備推進。 | 第1回比布町産業まつり開催(8/7)。 |
| 昭和56年 | 集中豪雨で2年連続災害負債累積。 | |
| 昭和57年 | 転作麦奨励で乾燥調整施設整備(第7地区、第12地区)。 | |
| | カメムシによる着色米被害に色彩選別機導入。 | |
| 昭和58年 | 菅原安雄氏組合長に就任。 | 大西 隆参事退職、久保田昭夫参事選任8月。 |
| | 肉牛農家激減で堆肥施設直営。 | 強風による全町的にハウス損害甚大。 |
| 昭和59年 | 高額負債農家対策で再建特認資金。 | 東園支所店舗閉鎖。 |
| 昭和60年 | 土地改良事業完了し推進協議会開催。 | 資材店舗改装・金融店舗新装オープン |
| 昭和61年 | 川上 賢氏組合長に就任。 | 価格低迷、養豚農家激減。 |
| | 金融店舗オンライン開始(ATM設置)。 | |
| 昭和62年 | 野菜栽培農家普及指導協力員設置。 | 青果物集出荷施設予冷庫設置。 |
| 昭和63年 | 組勘制度廃止、貯金決済始る。 | |
| 平成 元年 | 経営相談で貸付金が繰り上げ償還増える。 | |
| 平成 2年 | 1品目1億円ほうれん草乗り。 | 食味水準向上対策事業実施。 |
| 平成 3年 | 全量1等米出荷で知事表彰。 | 第1回びっぴ七夕天国開催(8/7)。 |
| | 久保田昭夫参事退職、工藤博章参事選任(2月)。 | |
| 平成 4年 | 佐竹春彦氏組合長に就任。 | 給油施設統合国道40号線に新設。 |
| | 農畜産物市場開放阻止全町総決起大会開催。 | |
| 平成 5年 | 意識改革は大凶作でも貯金は伸びる。 | 倉庫管理農林大臣賞授彰。 |
| 平成 6年 | 融資減少、貯貸率減少(12%)。 | 貯金金利の自由化完了。 |
| | 管内農協給油所クリーンナップコンテスト最優秀賞受賞。 | |
| | (食管法廃止) | |
| 平成 7年 | 川上 賢氏組合長に就任。 | 農協貯金100億円達成。 |
| | (新食糧法施行) | |
| 平成 8年 | 3年連続1等米100%(4度目)達成。 | ライスファクトリー増改築着工。 |
| | 工藤博章参事退職、谷越耕三参事選任。 | |
| 平成 9年 | クライシスデザイン方針書実現推進宣言大会(2月)。 | |
| | (米価大幅下落) | 特別営農安定事業の取組み。 |
| 平成10年 | 佐竹春彦氏組合長に再任。 | いちご販売高1億円突破。 |
| 平成11年 | いちご予冷庫施設取得。 | カメムシの被害発生。 |
| 平成12年 | 「いちご煎餅」「いちごワイン」の製造販売 | |

| | |
|-------|--|
| 平成13年 | 全道産地7ランク区分で本町は「6ランク」15番目となる |
| 平成14年 | 安心・安全と売れる米づくりから米の全量「石抜き」作業を実施 |
| 平成15年 | 平成5年以来の大冷害により減収。比布町水田農業ビジョン実施初年度。 |
| 平成16年 | 収穫期の9月に台風18号の上陸で、畑作物の減収、施設の倒壊打撃を受ける |
| 平成17年 | 豊作分の過剰米を市場から隔離する「集荷円滑化対策」が発動される豊作基調で米相場は低迷する。 |
| 平成18年 | 2年連続の豊作となり、米相場は低迷することになり農家所得は、豊作とは言えない |
| 平成19年 | 米ガイドラインの最高ランク5ランク区分浮上 資材課肥料倉庫取得。 |
| 平成20年 | 高品質6.8%以下の低タンパク米比率では、96.6%と過去に例がないほど全町的に良食味米が出荷されました。 |
| 平成21年 | 4月26日セルフスタンドオープン、ガソリン取扱量前年比150%を超える扱い量です 低温・日照不足の影響で、作物全般で減収や品質低下の被害。 |
| 平成22年 | 水稻の作況は全国「98」、北海道「89」、上川「83」比布町の平均反収「424kg」となる、 異常気象と思われるほど急激な高温と集中豪雨の影響などにより、いもち病の発生 米の作況は北海道「98」、上川「97」と2年連続の不作となる。 |
| 平成23年 | 米は3年ぶりの豊作となる。作況は北海道「105」、上川「107」。 11月、組合長 佐竹 春彦氏死去。高橋 英則氏組合長に就任。 |
| 平成24年 | 3月末をもってAコープ店舗を閉店する 米は2年連続の豊作。作況は北海道「107」、上川「106」。 |